

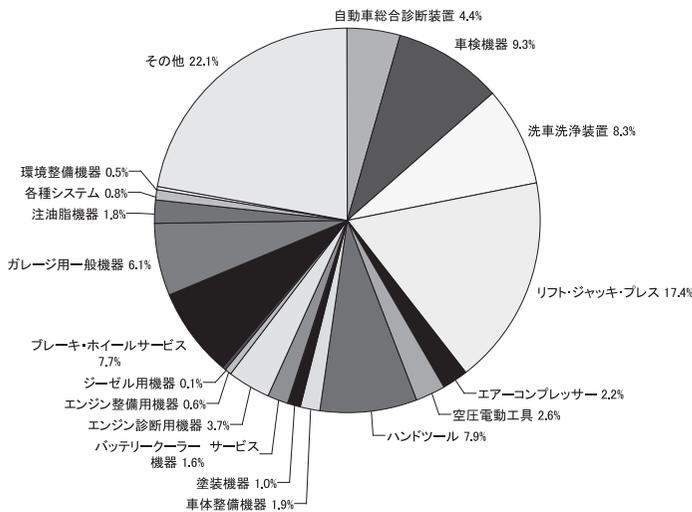
# 5年ぶりに1000億円超

老朽化設備の更新が旺盛

日本自動車機械工具協会（機工協、中谷良平会長）が発表した「2013年度自動車機械工具販売実績」によると、機工協会員による2013年度の機械工具販売金額は対前年度比6・6%増の1030億円となり、4年連続の増加を示した。また2008年以來5年ぶりに1000億円を超え、リーマンショック以前の水準に回復した。

## 2013年度 自動車機械工具 販売実績

### 2013年度売上構成比



また今回の販売実績には昨年度退会した1社が集計されておらず、

エンドユーザー価格ベースでの販売総額は1030億1315万8千円となり、対前年度比6・6%増となった。

「13年度の「自動車機械工具販売実績」を発表した。

機工協は7月30日に都内で、20

カーディーラー・整備專業が好調

## 2013年度自動車機械工具販売実績集計表

番号	項目	国内販売金額(千円)	輸出販売金額(千円)	輸入販売金額(千円)	合計金額(千円)	対前年比(%)	項目に占める割合(%)
1	自動車総合診断装置	2,520,474	1,920,963	60,042	4,501,479	100.4%	4.4%
2	車検機器	9,446,776	144,447	18,449	9,609,672	124.0%	9.3%
3	洗車洗浄装置	8,522,650	16,744	37,720	8,577,114	112.7%	8.3%
4	リフト・ジャッキ・プレス	17,592,217	81,178	238,330	17,911,725	114.6%	17.4%
	(車載用)	2,058	0	0	2,058	113.1%	0.020%
5	エアコンコンプレッサー	2,248,151	645	8,573	2,257,369	108.6%	2.2%
6	空圧電動工具	1,651,552	5,391	997,450	2,654,393	108.5%	2.6%
7	ハンドツール	3,935,790	452,013	3,755,191	8,142,994	70.9%	7.9%
	(車載用)	35,453	0	0	35,453	91.7%	0.0344%
8	車体整備機器	1,076,652	1,154	927,093	2,004,899	74.9%	1.9%
9	塗装機器	979,115	0	53,449	1,032,564	102.7%	1.0%
10	バッテリー・クーラーサービス機器	1,539,797	1,489	160,697	1,701,983	97.0%	1.6%
11	エンジン診断用機器	2,940,133	52,272	775,305	3,767,710	138.6%	3.7%
12	エンジン整備用機器	529,729	24,603	28,738	583,070	91.6%	0.6%
13	ジューセル用機器	56,688	546	0	57,234	54.6%	0.1%
14	ブレーキ・ホイールサービス機器	3,551,663	6,278	4,339,311	7,897,252	137.5%	7.7%
	(車載用)	60,414	0	0	60,414	122.0%	0.0587%
15	ガレージ用一般機器	3,607,239	13,683	2,638,132	6,259,054	126.7%	6.1%
16	注油脂機器	1,870,143	9,945	26,428	1,906,516	105.0%	1.8%
17	各種システム	781,812	0	0	781,812	157.8%	0.8%
18	環境整備機器	504,788	0	45,618	550,406	72.6%	0.5%
19	その他	21,540,979	1,255,176	19,757	22,815,912	101.3%	22.1%
	総合計	84,896,348	3,986,527	14,130,283	103,013,158	106.6%	100.0%
	(車載用合計)	97,925	0	0	97,925	108.8%	0.1%

2013年4月1日～14年3月31日

### 自動車機械工具販売実績統計対比表

年度	区分	販売実績(千円)	構成比	前年度対比
2007	輸入品	13,835,798	12.4%	362.3%
	輸出品	3,387,787	3.0%	104.1%
	国産品	94,458,533	84.6%	99.6%
	計	111,682,118	100.0%	109.6%
2008	輸入品	13,740,207	13.3%	99.3%
	輸出品	2,847,526	2.8%	84.1%
	国産品	86,657,641	83.9%	91.7%
	計	103,245,374	100.0%	92.4%
2009	輸入品	9,408,062	11.1%	68.5%
	輸出品	1,991,242	2.4%	693.9%
	国産品	73,212,382	86.5%	84.5%
	計	84,611,686	100.0%	82.0%
2010	輸入品	11,519,799	13.2%	122.4%
	輸出品	2,439,689	2.8%	122.5%
	国産品	73,569,226	84.1%	100.5%
	計	87,528,714	100.0%	103.4%
2011	輸入品	13,272,701	14.7%	115.2%
	輸出品	4,325,031	4.8%	177.3%
	国産品	72,842,925	80.5%	99.0%
	計	90,440,657	100.0%	103.3%
2012	輸入品	13,622,670	14.1%	102.6%
	輸出品	3,608,532	3.7%	83.4%
	国産品	79,425,996	82.2%	109.0%
	計	96,657,198	100.0%	106.9%
2013	輸入品	14,130,283	12.1%	103.7%
	輸出品	3,986,527	185.9%	110.5%
	国産品	84,896,348	57.2%	106.9%
	計	103,013,158	63.6%	106.6%

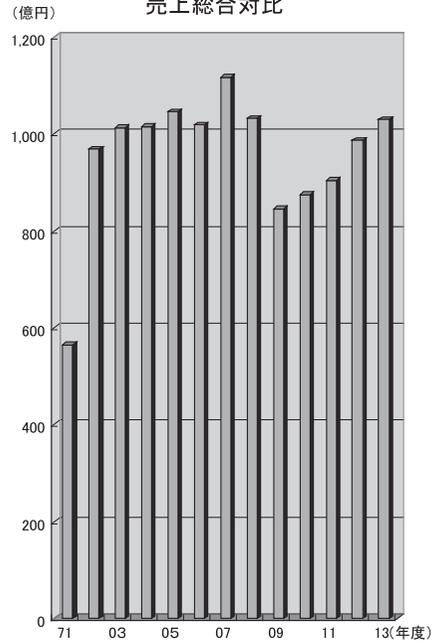
それを考慮した場合、現会員の販売  
 総合計金額は同9・8%増と推計さ

れる。  
 13年度は退会した1社を除いた場  
 合、前年度に比べ約10%

増と好調に販売金額を  
 伸ばした。カーデ  
 ラーを中心とした老朽  
 化設備の更新投資が非  
 常に活発に行われたこ  
 とで需要が大幅に押し  
 上げられた。

機工協では販路別のデータ集計を  
 行っていないが、佐藤正幸理事（ア  
 ルティア代表取締役社長）の実感と  
 して「カーディーラー向けの販売で  
 は、老朽化設備更新の活発化によつ  
 て前年に比べふた桁の伸び、整備専  
 業者向けは横ばいからプラス5%程  
 度ではないかと実感している。それ  
 からカーメーカー向けの生産設備は  
 約10%増、車検場向けの設備は10%

売上総合対比



程度減少している」と話  
す。

輸出実績は39億8652万7千  
円、同10・5%増。カーメーカ向  
けの生産設備の販売が増加した。

輸入実績は141億3028万3  
千円、同3・7%増となり過去最高  
金額を記録した。しかし全体の伸び  
率より小さく、輸入品比率は前年に  
続き縮小傾向が見られる。また特に  
輸入品比率の高いハンドツールの販  
売規模の縮小が大きく影響した。

同会員全体の販売規模の変動を  
金額で見ると、全体で前年度比63・  
6億円増加した。このうち「リフト・  
ジャッキ・プレス」が22億9千万円、

た。一方で「ハンドツール」は33・  
4億円縮小した。

全体の傾向としては大きな設備が  
増加し、ハンドツールなど小さな商  
品が減少傾向にある。

### 老朽化設備の更新が活発

項目別に詳しく見ると、「ブレ  
キ・ホイール機器」は前年度比37・  
5%増、78億9725万円。高扁平  
タイヤの装着率の増加に伴い、全体  
的に足回り機器の需要が活発になっ  
てきている。ホイールライメントテ  
スターは好調な外車販売を背景に外  
車ディーラーを中心に需要が拡大し  
た。

「ブレーキホ  
イールサービ  
ス機器」が21億  
5千万円、「車  
検機器」が18・  
6億円、「ガ  
レージ用一般  
機器」が13・2  
億円、「エンジ  
ン診断用機器」  
は10・5億円と  
大幅に増加し

「ガレージ用一般機器」は同26・7  
%増、62億5905万円。老朽化設  
備の更新需要がガレージ用の一般機  
器の需要も押し上げた。設備更新に  
伴って需要が発生したライト・リモ  
コンリール等も好調だった。  
「車検機器」は同24・0%増、96億  
967万円。同項目内は全体的に伸  
びた。またコンピュータ車検システ  
ムは、車検業務の省力化、効率化を  
志向する傾向が見られ、業界全体の  
メカニク不足に加え、コンプライ  
アンス意識の高まりも大幅な伸びに  
貢献した。

「リフト・ジャッキ・プレス」は同  
14・6%増、179億1172万円。  
同項目は過去10年間で2番目の実績  
となり、床上型2柱リフトは同20%  
増で整備業者を中心に需要が高  
まった。

スキヤンツールが属する「エンジ  
ン診断機」では同38・6%増、37億  
6771万円。スキヤンツール導入  
補助金の効果で大幅な増加が見られ  
た。これまでに低価格で簡易型の診  
断機の需要が高かったが、13年度は  
標準仕様が増加し、価格帯も上昇し  
た。